



株式会社

森高ローラ製作所

会社案内

<https://www.moritakaroller.co.jp/>

ものづくりを通じて社会の発展に貢献し、 未来に誇れる企業であり続ける

1926年の創業以来、皆様からのご愛顧とご支援に支えられ、今日まで歩みを続けてまいりました。心より厚く御礼申し上げます。
森高ローラ製作所は、法令遵守と公正な企業活動を経営の基本とし、社会から信頼される企業であり続けることを使命としております。

安全と環境を最優先に日々の研鑽を重ね、培ってきた技術力の向上に努めるとともに、時代の変化にも果敢に挑戦し、ものづくりを通じて社会の発展に寄与してまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社森高ローラ製作所

代表取締役社長 段本 積也

HISTORY 沿革

- | | |
|----------|--|
| 1926年 | 京都市下京区東九条殿田町9において森高庄三郎が印刷用のロールの製造販売を開業 |
| 1939年 | 大阪・加貫ローラ製作所と特約し印刷用ゴムロールの販売加工を併業 |
| 1948年 | 京都市下京区北小路新町西入へ移転 |
| 1950年 2月 | 株式会社加貫ローラ製作所の代理店となる |
| 1954年 3月 | 森高鐵夫が代表者となる |
| 1960年 7月 | 本社、及び工場を京都市南区吉祥院中河原里南町6番地へ移転 |
| 1968年 3月 | 株式会社加貫ローラ製作所北陸地区（福井県、石川県、富山県）の代理店となる |
| 1975年 8月 | 北陸出張所を金沢市横川3-249に開設 |
| 1977年 8月 | 本社、事務所・工場を新築 |
| 1983年 1月 | 本社、工場を増築 |
| 1989年 4月 | 株式会社森高ローラ製作所を設立し、代表取締役任に森高鐵夫が就任 |
| 2003年10月 | ISO9001:2000 認証取得 |
| 2004年 4月 | 代表取締役に井上勝祥が就任 |
| 2007年 1月 | 北陸支店を金沢市間明町2丁目189番地へ移転 |
| 2008年 5月 | 代表取締役に森高晋一が就任 |
| 2010年11月 | 税務署より、優良法人表敬状を受ける |
| 2014年 2月 | KESステップ2 認証取得 |
| 2014年11月 | 税務署より、二度目の優良法人表敬状を受ける |
| 2015年 4月 | 北陸工場を金沢市間明町2丁目189番地に開設 |
| 2020年 1月 | 金属加工会社、株式会社エムテックを設立 |
| 2020年11月 | 税務署より、三度目の優良法人表敬状を受ける |
| 2021年10月 | 本社、工場をワンフロア化 |
| 2022年10月 | 株式会社エムテックを京都市南区吉祥院中河原里北町6へ移転 |
| 2026年 4月 | 株式会社エムテックを吸収合併し事業を統合代表取締役社長に段本積也が就任 |

加工技術の高さと柔軟な対応力で、 各種機械用ロールを スピード製造いたします。

- フィルム用ロール
- 工業用ロール
- 印刷用ロール

印刷機をはじめ、半導体製造装置やリチウムイオンバッテリー製造ラインなど、精度と安定性が求められる分野にも幅広く対応可能

ゴムロール製造 RUBBER ROLLER

- コーター、スリッター、乾燥機などのフィルム製造装置
- 印刷機、繊維関連装置
- フラットパネルディスプレイ製造装置
- 半導体製造装置やリチウムイオンバッテリー製造設備

など

金属ロール製造 METAL ROLLER



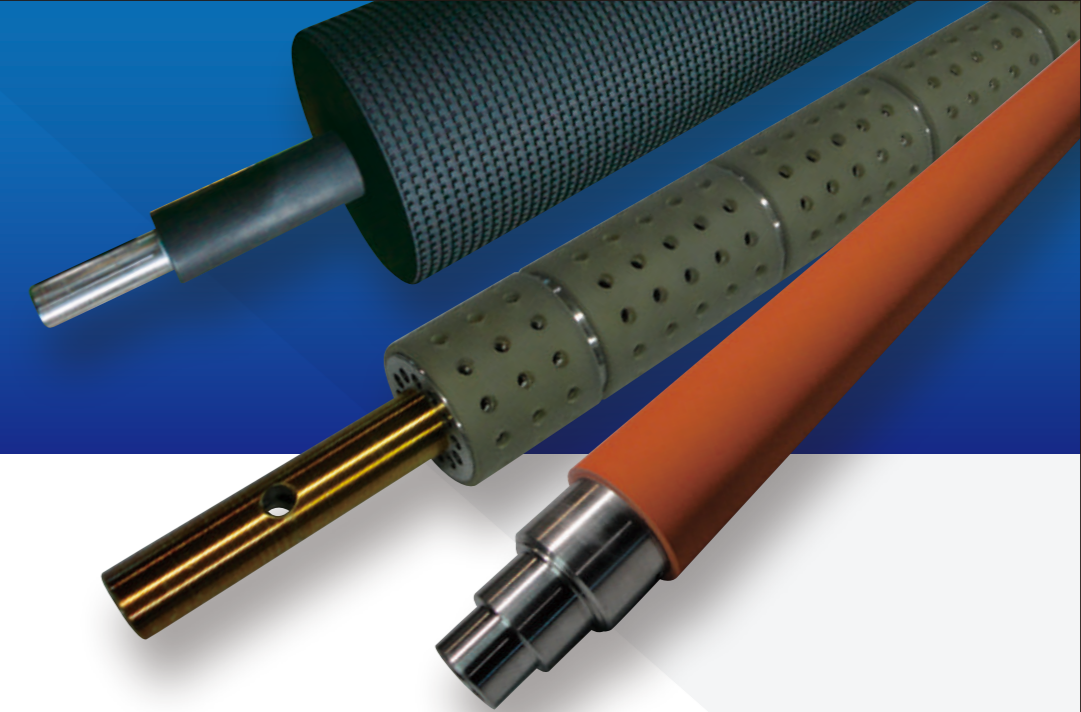
シャフト製造 SHAFT ROLLER

- フラットパネルディスプレイ (FPD) 製造ラインの搬送ロール
- コンベアシャフト
- 太陽電池パネルのガラス搬送
- 半導体ウェーハ搬送やリチウムイオンバッテリー製造工程

など

その他 関連製造 OTHER

- スポンジロール製造
水切り用、液切り用、塗布用、搬送用 など
- 加工品製造
機械加工、金型を用いるプレス、注型 など
- プラシロール製造
工業用、印刷用など
- 樹脂ロール製造
テフロン、ポリエチ、ナイロン、塩ビ など
- 印刷関連商品
人・環境に考慮した優しい商品 (PRTR 法及び環境条列に対応した商品) をお勧めいたします。



ゴムロール製造

RUBBER ROLLER

フィルム用ロール / 工業用ロール / 印刷用ロール

私たちは高品質なゴムロールを通じて、
お客様の課題解決に取り組みます。

印刷機をはじめ、半導体製造装置やリチウムイオンバッテリー製造ラインなど、精度と安定性が求められる分野にも幅広く対応可能です。素材選定から加工、検査に至るまで一貫した品質管理を行い、信頼性の高い製品をお届けしています。

さらに、用途に応じた特殊ゴム材の提案や表面処理技術を組み合わせることで、摩耗や薬品への耐性を高めるなど、付加価値の高いソリューションを提供いたします。

また、顕微鏡を活用することで微細な溝の測定や面粗度の管理も可能となり、より精緻な品質保証を実現しています。

短納期対応

スピーディーにお届け

小ロット対応

柔軟な生産体制

課題解決志向

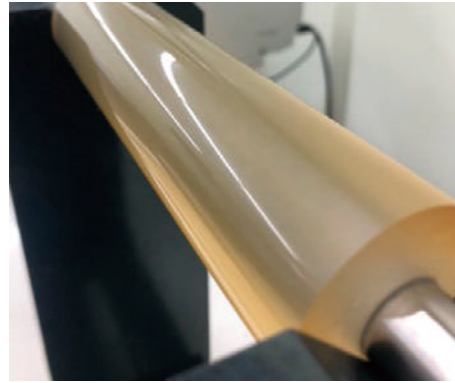
品質と技術でサポート

お客様のビジネスを支えるパートナーとして、ぜひお気軽にご相談ください。

PROCESSING

μm 単位の高精度加工

最高の品質を、最低コスト内で。



鏡面加工

近年、ロール表面の面粗度については、より精度の高い仕上がりが求められています。当社では長年にわたり、乾式・半乾式による研磨や研削加工でそのニーズに応えてまいりました。現在は湿式研磨技術も活用し、従来よりも一段上の領域での面粗度を提供可能となっています。さらに、マイクロスコープによる微細な溝の測定や面粗度の管理を組み合わせることで、仕上がりの精度を数値で保証できる体制を整えています。これにより、厳格な品質要求にも対応し、安定した鏡面仕上げをお届けいたします。



長尺ロールの加工

自重によるタワミが出やすいとされる細長いロールの加工には、当社は絶対的な自信を持っています。現在は、3000mm までの長尺ロールに対応可能な設備を備えており、幅広いニーズにお応えしています。さらに、システム制御による高精度な加工測定を自動で実施できる体制を整えており、安定した品質と効率的な生産を実現しています。これにより、長尺ロールに求められる厳格な精度要求にも対応し、お客様の生産性向上に貢献いたします。

微振動への対策

生産機器の稼働によって発生する微振動は、高精度・高品質・微細な加工を行う過程において、好ましくない影響を及ぼす場合があります。当社では、機器を独立した床に設置することで外部振動の影響を遮断し、安定した加工環境を確保しています。さらに、機器の重量バランス最適化による共振防止、マイクロスコープによる加工面の測定で、微振動の影響を数値で確認するといった取り組みにより、微細加工においても高精度を維持できる体制を整えています。厳格な品質要求にも対応し、安定した生産環境をお客様に提供いたします。



測定環境の充実

当社では、365日24時間温度・湿度をコントロールできる恒温恒湿環境を完備し、標準状態 (JIS 規格) に基づいた精度の高い測定が行えます。さらに、マイクロスコープを活用した微細な溝の測定や面粗度の管理により、測定結果を数値で保証できる体制を構築。これにより、測定の信頼性を客観的に裏付け、製品の品質を確実に保証しています。当社は、「精度保証の徹底」こそがものづくりの基盤と考え、常に技術の研鑽と挑戦を続けています。厳格な品質要求にも応えられる測定環境を維持し、未来のものづくりに向けてさらなる高精度を追求し続けます。



クラウン加工

ロールの面長と直径の比率 (L/D) が大きい場合や、ロール圧力が高い用途では、クラウン加工が有効です。当社では、長年培った加工技術に加え、精密測定による形状管理を徹底することで、用途に応じた最適なクラウン形状を提供しています。これにより、厳格な精度要求にも対応し、お客様の生産効率と品質向上に貢献いたします。



テーパークラウン

ラジアルクラウン

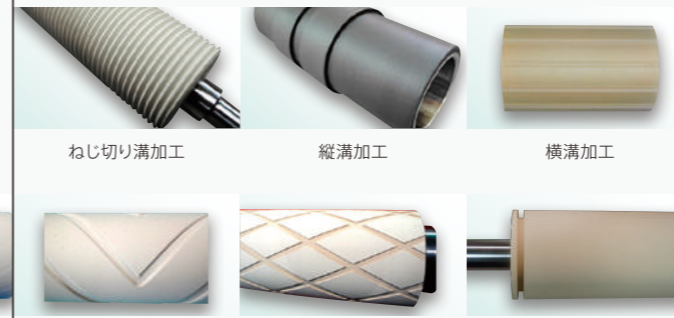
逆ラジアルクラウン

溝加工

あらゆる溝幅、溝の深さ、溝のピッチについて高精度の加工が可能ですので、お気軽に弊社営業担当までご相談ください。



ヘリカル溝加工



ねじ切り溝加工

縦溝加工

横溝加工

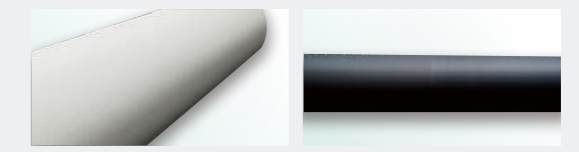
Wヘリカル溝加工

ダイヤモンド溝加工

コーティング溝加工

その他 表面加工

その他、お客様からのご要望の多い加工について紹介させていただきます。



クレープ加工

低摩擦処理加工



シャフト製造

SHAFT ROLLER

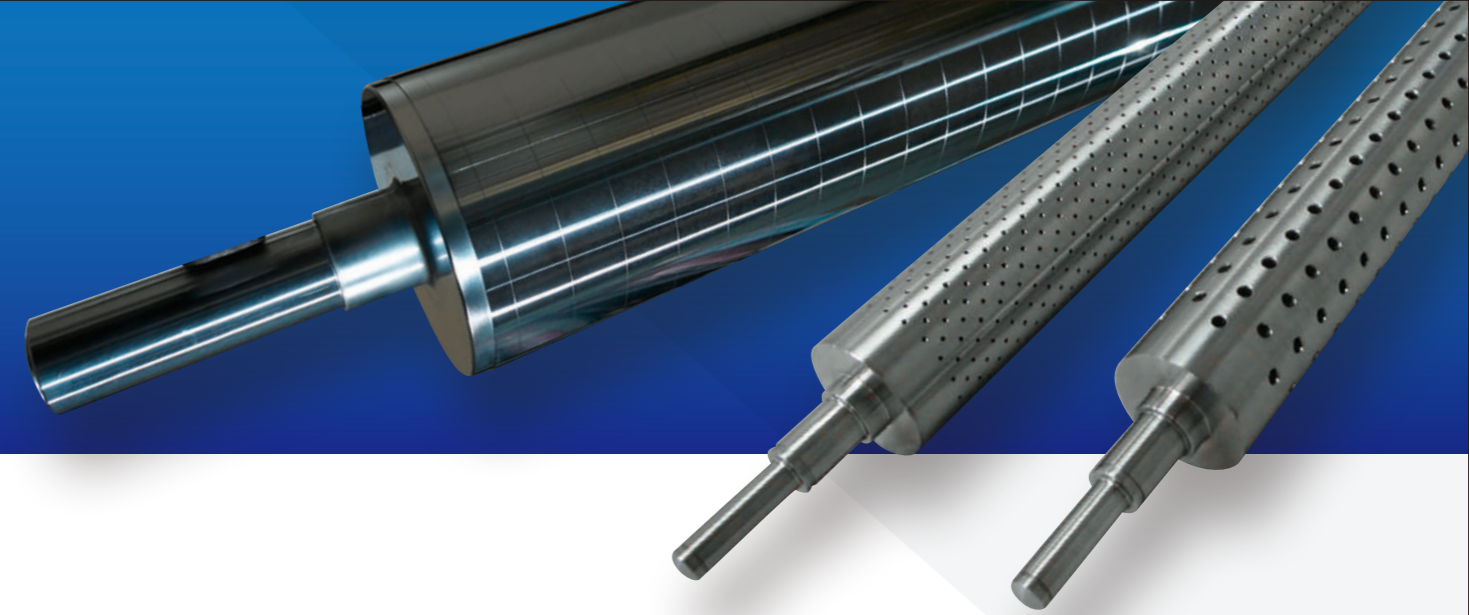
安定した寸法精度を誇る金属シャフトで、
コストダウンに貢献いたします。

フラットパネルディスプレイ (FPD) 製造ラインの搬送ロール、コンベアシャフト、
太陽電池パネルのガラス搬送に加え、半導体ウェーハ搬送やリチウムイオン
バッテリー製造工程など、幅広い用途に対応可能です。

当社シャフトの最大の特徴は、高精度の円筒研削技術により【高い真円度・
優れた円筒度・高精度な真直度】を実現している点です。

さらに、長尺シャフトにおいてもその精度を維持できるため、幅広い生産ライン
に対応可能です。

高品質かつ信頼性の高いシャフトを通じて、お客様の生産効率向上をサポート
いたします。



金属ロール製造

METAL ROLLER

豊富な素材選定と
多彩な表面処理技術を駆使し、
用途に最適な金属ロールを製造しています。

コーター、スリッター、乾燥機などのフィルム製造装置をはじめ、印刷機、織
維関連装置、フラットパネルディスプレイ製造装置、さらに半導体製造装置や
リチウムイオンバッテリー製造設備など、先端分野でも数多くの実績を積み重
ねてまいりました。

複合加工機による加工により、加工精度の向上と加工時間の短縮を実現。また、
バランスマシーンを活用することでシビアなバランス修正にも対応可能です。



素材選定の柔軟性

用途に応じた最適な材料を提案

表面処理技術

耐久性・精度を高める加工

豊富な実績

多業界での採用経験

技術の研鑽に挑戦し続け、高品質かつ信頼性の高い金属ロールで、
お客様の生産効率と品質向上に貢献いたします。



品質改善のための取り組み

当社は2003年10月にISO9001を取得し、国際規格に基づいた品質マネジメント体制を確立しています。

「社会のルールを守り、日々品質の向上に努めることにより、顧客の満足と未来への貢献を実現する。」という品質方針のもと、常に品質改善に取り組んでいます。

当社は、品質保証の徹底をものづくりの基盤と位置づけ、技術の研鑽と挑戦を続ける企業姿勢を貫いています。

お客様にご満足いただける品質とサービスを提供し続けることで、未来の発展に貢献してまいります。



環境改善活動への取り組み

当社は2014年2月28日にKES(環境マネジメントシステム・スタンダード)ステップ2を取得し、国際的な環境管理基準に基づいた体制を整えています。地球環境の保全を人類共通の最重要課題の一つと認識し、環境宣言のもと、全組織を挙げて環境負荷の低減に取り組んでいます。

「廃棄物の削減とリサイクルの徹底」「有機溶剤の代替品導入と安全教育」「製造工程での不良削減」等の活動を継続的に実施し、持続可能な社会の実現に貢献しています。当社は今後も、環境改善への挑戦を続け、未来世代に誇れるものづくりを目指してまいります。



持続可能な事業運営への取り組み

当社は、BCP(事業継続計画)を策定し、時代に応じた計画の見直しを続けています。

京都・石川の複数拠点を活かし、災害やシステム障害などの緊急事態に強い会社づくりを進めています。

また、従業員の健康保持・増進に向けた健康宣言の認定を受け、働く環境の安全性と持続性を高める取り組みを推進しています。



社会奉仕活動

当社は、長年にわたり日本ユニセフ協会を通じた募金活動を継続して行い、子どもたちの健やかな成長を支援しています。

また、社会福祉団体への寄付や日本赤十字社による献血活動への協力に加え、社内や事業所へのAED(自動体外式除細動器)の設置を行い、緊急時に地域社会へも役立てられる体制を整えています。

これらの活動は、企業としての責任を果たすだけでなく、未来を担う人々への支援を通じて、持続可能な社会の実現に寄与するものと考えています。当社は今後も、社会奉仕活動を継続し、「人と社会に貢献する企業」として歩みを進めてまいります。



優良申告法人の認定

当社は2020年11月、税務署より3回目の優良法人表彰状を受けました。これは、長年にわたり健全な経営と明らかな会計処理を継続してきたことが評価されたものです。

今後も「法令遵守の徹底」「透明性の高い会計処理」「健全な経営基盤の維持」を通じて、社会から信頼される企業であり続けます。



SDGsへの取り組み

当社はCSR活動の一環として、**SDGs(持続可能な開発目標)**に沿った取り組みを推進しています。

- 1 貧困をなくそう
ユニセフへの継続的な募金活動
- 2 質の高い教育をみんなに
新入社員教育力リキウム、外部講習参加推奨
- 3 すべての人に健康と福祉を
安全装置付き営業車への変更、献血参加、有機溶剤の代替品導入、社員健康診断、AED(自動体外式除細動器)の設置による緊急時対応
- 4 働きがいも経済成長も
残業ゼロへの取り組み、有給休暇取得奨励
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
女性雇用比率50%目標、男女平等評価、男性含む育児・介護休暇、ハラスメント防止
- 8 つくる責任 つかう責任
紙使用量削減、廃棄物分別、製造工程での不良削減

これらの活動を通じて、社会的責任を果たすとともに、持続可能な未来の実現に貢献しています。

社名	株式会社森高ローラ製作所
所在地	<p>本社 〒601-8396 京都市南区吉祥院中河原里南町6 TEL (075) 313-4230(代) FAX (075) 313-7660</p> <p>北陸支店 〒921-8005 石川県金沢市間明町2丁目189番地 TEL (076) 292-0390(代) FAX (076) 292-0225</p>
創業	1926年
法人改組	1989年4月1日
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・工業用ゴムロール及び金属ロールの製造 ・工業用製品に関連する付属品の製造
資本金	1,000万円
代表者	代表取締役社長 段本 積也
従業員	約45名
主要取引銀行	京都銀行(吉祥院支店) 三菱UFJ銀行(京都支店)

設備

- ゴム加工部門
 - ・NC研磨機 …………… 8台
 - ・研磨装置付NC旋盤 …… 3台
 - ・研磨装置付旋盤 …… 4台
 - ・旋盤 …………… 2台
 - ・仕上機 …………… 7台
 - ・超硬バイト研削盤 …… 1台
 - ・ボール盤 …………… 1台
 - ・測定器(レーザー寸法測定器、面粗度計、硬度計、マイクロスコブなど)
- 金属加工部門
 - ・円筒研削盤 …………… 1台
 - ・NC施盤 …………… 2台
 - ・CNC施盤 …………… 2台
 - ・汎用施盤 …………… 1台
 - ・複合加工機 …………… 1台
 - ・NCスライス盤 …… 1台
 - ・キー溝加工機 …… 1台
 - ・ボール盤 …………… 2台
 - ・レーザー溶接機 …… 1台
 - ・汎用バランスングマシン … 1台

拠点情報



本社
 〒601-8396
 京都市南区吉祥院中河原里南町6
 TEL (075) 313-4230(代)
 FAX (075) 313-7660



北陸支店
 〒921-8005
 石川県金沢市間明町2丁目189番地
 TEL (076) 292-0390(代)
 FAX (076) 292-0225





株式会社

森高ローラ製作所

<https://www.moritakaroller.co.jp/>

info@moritakaroller.co.jp